

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 交通 局]

事 業 名
02 款 自動車事業会計 自動車事業費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	21,472,845				21,472,845		0
執行見込額	21,681,987				21,681,987		0
今回補正額	209,142	0	0	0	209,142	0	0

**【事業概要】**

自動車事業会計では、市営バスの運行に係る経費として、バスの燃料代である動力費を予算に計上しているほか、車両工場・営業所等の電気料金等を含む経費を計上しています。

令和4年度当初予算

- ・動力費：1,013,528千円

(主な内訳)

- ・軽油購入代金：1,004,683千円
- ・その他動力費：8,845千円
- ・経費（電気料金等）：4,531,035千円

**【補正概要】**

<軽油価格の上昇を踏まえた市営バス動力費の増額補正>

世界的な原油価格の高騰に伴い、市内においても軽油価格が上昇しています。市営バス車両のほとんどは軽油を燃料としているため、軽油価格の上昇によって購入代金が大幅に増加し、動力費の当初予算を超過する見込みであることから、動力費を増額補正します。

<電気料金の上昇等を踏まえた経費の増額補正>

世界的な原油価格の高騰に伴う電気料金の増加等により、経費が当初予算を超過する見込みであるため、増額補正します。

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①動力費	1,013,528	106,239	1,119,767	軽油単価の上昇により増額
②経費（電気料金等）	3,731,336	102,903	3,834,239	電気料金の上昇等により増額
③その他自動車事業費	16,727,981		16,727,981	
合 計	<b>21,472,845</b>	209,142	21,681,987	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 交 通 局 ]

事 業 名
02 款 高速鉄道事業会計 高速鉄道事業費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	43,049,370				43,049,370		0
執行見込額	43,962,574				43,962,574		0
今回補正額	913,204	0	0	0	913,204	0	0

**【事業概要】**

高速鉄道事業会計では、地下鉄の運行に係る経費として、走行用電力としての動力費や駅舎用電力等の経費（電気料金）を予算に計上しています。

令和 4 年度当初予算：2,549,635千円

（主な内訳）

- ・ 運転用動力費：1,526,291千円
- ・ 駅舎用電力：902,172千円
- ・ 基地内用動力ほか：121,172千円

**【補正概要】**

<電気料金の上昇を踏まえた地下鉄動力費、経費（電気料金）の増額補正>  
世界的な原油価格の高騰に伴い、電気料金が上昇しています。電気料金の上昇に伴い動力費、経費（電気料金）が当初予算を超過する見込みであるため、増額補正します。

**【 事業費の内訳 】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①動力費	1,526,291	579,981	2,106,272	電気料金単価の上昇により増額
②経費（電気料金）	1,023,344	333,223	1,356,567	電気料金単価の上昇により増額
③その他高速鉄道事業費	40,499,735		40,499,735	
合 計	<b>43,049,370</b>	913,204	43,962,574	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 交通 局]

事 業 名
12 款 01 項 高速鉄道事業会計 建設改良費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	企業債	一般会計繰入金
現計予算額*	23,654,408	51,000			811,741	18,168,000	4,623,667
執行見込額	24,524,702	274,700			812,779	18,391,000	5,046,223
今回補正額	870,294	223,700	0	0	1,038	223,000	422,556

**【事業概要】**

高速鉄道事業会計においては、平成25年度より国庫補助金（地下高速鉄道整備事業費補助（地方公共団体協調補助））の補助対象として、耐震補強事業や大規模改良事業を実施しています。

（耐震補強事業）

市営地下鉄は、国からの通達に基づく耐震補強については、既に完了していますが、大規模地震が発生した際にも列車の早期運行再開が行えるよう、高架橋、橋梁及び開削トンネルの耐震補強工事を実施しています。（対象区間：戸塚～あざみ野）

（大規模改良事業）

老朽化した市営地下鉄上大岡駅における施設や設備機器の更新工事に合わせて、駅周辺のバリアフリー化を目的に、京急側改札口に地上行エレベーターの新設工事を実施しています。

**【補正概要】**

国土交通省から地下高速鉄道整備事業費補助について、補助金の追加認証がありましたので、補助対象事業費を増額するとともに、国庫補助金及び一般会計補助金などの財源の増額補正を行います。

**【補助対象事業】**

- ・ 早期運行再開のための耐震補強工事

**【補助金】**

国費…事業費×1.02×90%×80%×35%

一般会計補助…事業費×1.02×80%×35%

※地下高速鉄道整備事業費補助取扱要領 第5条第1項、第6条1項

※令和4年度の地方公営企業繰出金について（通知）

**【 事業費の内訳 】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①早期運行再開のための耐震補強	121,565	870,294	991,859	国庫補助金の追加認証に伴う増
②その他建設改良費	23,532,843	0	23,532,843	
合 計	<b>23,654,408</b>	870,294	24,524,702	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。